

**参加方法** 関東ふれあいの道コース18「水の恵みと水田地帯のみち」を、令和6年10月1日～令和6年11月30日までの間に歩いてください。

○一人一人が歩きたい場所・歩きやすい距離を、自由に選んで歩いてください。スタートもゴールもありません。ただし、プレゼントへの応募にはチェックポイント「大杉神社」、「妙岐ノ鼻(霞ヶ浦浮島湿原)」いずれか一方での写真撮影が必要です。

○さらに、チェックポイントを2か所訪れていただいた方には、より豪華なプレゼントをご用意しております。

○コース18の全てを歩き切る必要はありません。

○気持ちよく体を動かしながら、豊かな自然を満喫してください。＊コースマップは裏面にございます＊

### プレゼントの応募方法

コース内のチェックポイントにおいて、応募者自身を入れた写真を撮影し、「住所」・「氏名」・「年齢」・「撮影年月日」・「歩いた感想」と併せて、事務局へメール、郵送、または応募フォームからご応募ください。

抽選で、稲敷市の特産品をプレゼントいたします。

**応募期限:令和6年12月12日(木)※当日消印有効**

プレゼント  
応募フォーム→



※応募先については、このページの下部を参照してください。申請にあたって、様式等はありません。

※複数人が1枚の写真に写っていても、一人一人にプレゼントの応募資格があります。その場合、写真と併せて住所・氏名・撮影年月日・歩いた感想をお一人ずつご明記の上、ご応募ください。ただし、ご家族の場合は、一家族につきプレゼントはお一つとさせていただきます。

※当選者の発表は、プレゼントの発送をもって代えさせていただきます。発送は1月頃になる見込みです。

※ご応募いただきました個人情報及び写真につきましては、プレゼントの抽選・発送以外には使用しません。

#### 【チェックポイント】「大杉神社」



767年に創建された大杉神社は日本唯一の夢むすび大明神といわれ、古くから多くの人々の願いと夢を叶えてきたと伝えられています。社殿の豪華な装飾から、茨城の日光東照宮と称されることもあります。

#### 【チェックポイント】「妙岐ノ鼻」



霞ヶ浦に突き出た形で広がる湿地帯で、関東では最大級のヨシ原といわれています。野鳥が数多く訪れる場所でもあり、観察小屋も整備され、バードウォッチングの名所となっています。

### プレゼントの内容

○チェックポイントを1か所訪れた方

・あずまミルクQueen(5kg)を、抽選で50名様にプレゼントいたします。

○チェックポイントを2か所訪れた方

・あずまミルクQueen(5kg)と浮島れんこん(2kg)を、抽選で15名様にプレゼントいたします。



あずまミルクQueen



浮島れんこん

◎「関東ふれあいの道を歩いてみよう! in 稲敷市」に関するお問い合わせ先・プレゼント応募先  
茨城県自然歩道利用促進協議会(茨城県県民生活環境部環境政策課 自然・鳥獣保護管理グループ)  
郵送:〒310-8555 茨城県水戸市笠原町978-6 電話:029-301-2946 メール:sizenhodo18@gmail.com

◎稲敷市内の施設等に関するお問い合わせ先  
稲敷市まちづくり推進課 茨城県稲敷市犬塚1570-1 電話:029-892-2000(代)

自然歩道を歩こう月間

# 関東ふれあいの道を歩いてみよう! in 稲敷市

期間:令和6年10月1日～令和6年11月30日



### 関東ふれあいの道とは?

関東ふれあいの道は、首都圏に残された美しい自然や歴史遺産などを「みち」で結び、首都圏をぐるっと一周する長距離自然歩道です。茨城県のルートは、常陸大宮市から御前山県立自然公園、笠間県立自然公園、水郷筑波国定公園や筑波研究学園都市を経て稲敷市へと至る、総延長約255kmに及び18コースにより構成されています。

●関東ふれあいの道について更に詳しくお知りになりたい方は→



### 自然歩道を歩こう月間「関東ふれあいの道を歩いてみようin稲敷市」とは?

関東ふれあいの道の中でも、稲敷市を通るコース18「水の恵みと水田地帯のみち」を歩くことを推奨するイベントです。ハイキングに最適なこの季節に、家族や友人と一緒に歩いてみませんか。

主催:茨城県自然歩道利用促進協議会

# 関東ふれあいの道コース18 「水の恵みと水田地帯のみち」 みどころご紹介

稲敷市古渡と利根川の水郷大橋を起終点とするこのコースは、霞ヶ浦で最も水郷情緒を残す浮島や、その周辺に広がる水田地帯をめぐるながら、千葉県のコースへと結ぶ延長26.5kmの一般向けの歩道です。

## 浮島

浮島はかつて稲敷台地の一部が浸食、分離されてできた島でしたが、近年になって干拓され陸続きとなりました。古く万葉時代から、常陸風土記を始め多くの歌に詠まれた景勝地で、風土記にはここで塩や焼き海苔等を産したとあります。

## 妙岐ノ鼻

稲敷大橋付近に広がる面積約50haの関東地方最大級の湿地帯。ヨシを中心にマコモやガマなどの水生植物が生い茂る草原には、希少鳥類コジュリンやオオセッカをはじめ、数多くの野鳥が生息し、野鳥観察のポイントとしても有名です。観察小屋、歩道が整備されています。

## 大杉神社

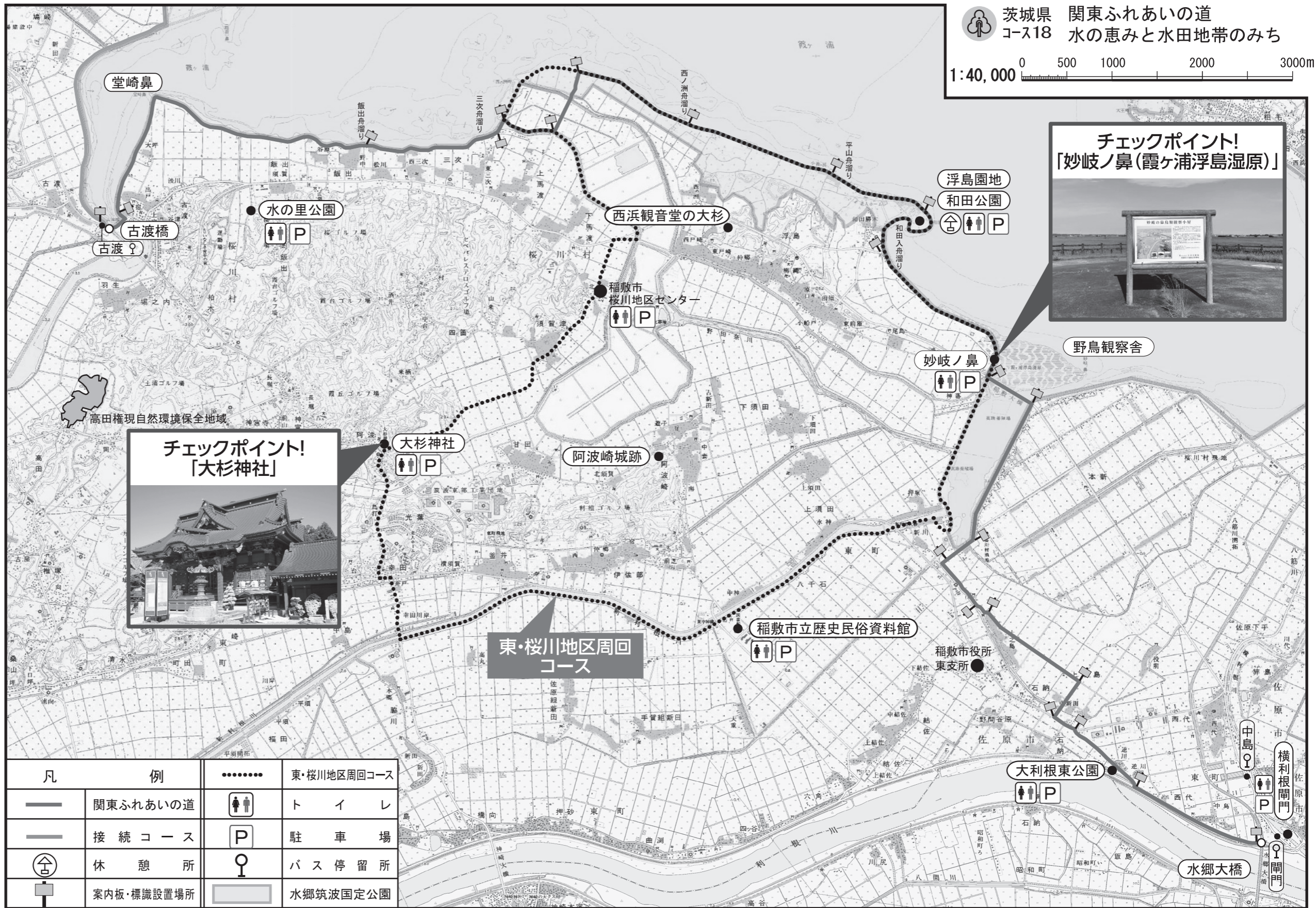
主祭神として倭大物主櫛瓊玉大神を祀っている大杉神社は、神護景雲元年(767)に勝道上人が病苦にあえぐ民衆を救うべく、巨杉に祈念したのが始まりといわれ、「あんばさま」として地元阿波地区の人のもとより、県内外から多くの信仰を集めています。

## 横利根閘門

国の重要文化財。霞ヶ浦と利根川を連絡する舟運の重要なルートである横利根川の利根川合流口に造られた煉瓦と石組みによる閘門で、大正10年(1921)に完成。当時としては最大規模(長さ90.9m、幅10.9m)のものでした。舟運が衰退した現在は、釣り船などの運航に利用されています。

## 稲敷市立歴史民俗資料館

霞ヶ浦を見下ろす稲敷台地の小高い丘には、縄文時代からの遺跡、史跡が多く残されており、資料館ではこれら貴重な文化財の保存・展示、人々のくらしの紹介などを行っています。稲敷市出身の力士・稲妻雷五郎(第七代横綱、1802-1877)を中心とした相撲の展示室があるのも特徴です。



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(地図画像)及び数値地図50mメッシュ(標高)を使用したものである。

●距離・コースタイム目安 (稲敷市内(東・桜川地区周回コース))

○距離：約25km  
○コースタイム：約6時間

和田公園 ← 約2.5km (約30分) → 妙岐ノ鼻

↑ 約11.5km (約150分) ↓

大杉神社 ← 約6.5km (約90分) → 稲敷市立歴史民俗資料館

※必ずしも全コースを歩き切る必要はございません。

●駐車場についてのご案内  
「大杉神社」、「妙岐ノ鼻」ともにお車でお越しいただけます。  
また、どちらの施設もトイレが整備されています。

P ♿